

青森県海区だより

(発行 2008年 2月29日 第23号)

〒030-8570 青森市長1 1 1

青森県海区漁業調整委員会事務局

TEL 017-734-9851

FAX 017-734-8166

e-mail Kaiku@pref.aomori.lg.jp

HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/kaiku/>



活彩あおもり

第17期第9回青森県内水面漁場管理委員会

開催日時：平成20年2月5日

開催場所：青森市

出席者：委員9名、水産振興課4名、内水研1名、鯨ヶ沢水産事務所1名、むつ水産事務所1名、事務局4名

議案第1号 漁業権一斉切替に係る免許内容等の事前決定について（諮問）

議案第2号 遊漁規則の変更の認可について（内共1号に係る件）（諮問）

平成19年度青森県内水面漁場管理委員会協議会

開催日時：平成20年2月5日

開催場所：青森市

出席者：委員9名、水産振興課4名、内水研1名、鯨ヶ沢水産事務所1名、むつ水産事務所1名、事務局4名

協議事項：平成20年度増殖計画量（案）について

第18期第20回青森県東部海区漁業調整委員会

開催日時：平成20年2月6日

開催場所：青森市

出席者：委員10名、水産振興課8名、むつ水産事務所2名、八戸水産事務所2名、事務局4名

議案第1号 漁業権一斉切替に伴う免許内容等の事前決定について（諮問）

議案第2号 青森県海面漁業調整規則の一部改正について（諮問）

議案第3号 小型いか釣り漁業の集魚灯の光力制限に係る委員会指示について

議案第4号 5トン未満の動力漁船によるいか釣り漁業の操業承認について

報告事項 東部海区漁業調整委員会指示第4号に係る報告

第18期第22回青森県西部海区漁業調整委員会

開催日時：平成20年2月7日

開催場所：青森市

出席者：委員12名、水産振興課6名、鯨ヶ沢水産事務所1名、むつ水産事務所1名、事務局4名

議案第1号 漁業権一斉切替に伴う免許内容等の事前決定について（諮問）

議案第2号 青森県海面漁業調整規則の一部改正について（諮問）

議案第3号 小型いか釣り漁業の集魚灯の光力制限に係る委員会指示について

議案第4号 5トン未満の動力漁船によるいか釣り漁業の操業承認について

報告事項 西部海区漁業調整委員会指示第5号に係る報告

東部海区漁業調整委員会「漁業権一斉切替に係る公聴会」

開催日時：平成20年2月26日

開催場所：青森市

出席者：委員14名、漁業関係者19名、水産振興課4名、八戸水産事務所2名、むつ水産事務所1名、事務局4名

西部海区漁業調整委員会「漁業権一斉切替に係る公聴会」

開催日時：平成20年2月28日

開催場所：鯨ヶ沢町

出席者：委員8名、漁業関係者11名、町役場2名、水産振興課4名、鯨ヶ沢水産事務所1名、事務局4名

内水面漁場管理委員会「漁業権一斉切替に係る公聴会」

開催日時：平成20年2月28日

開催場所：鯨ヶ沢町

出席者：委員5名、深浦町役場1名、水産振興課4名、鯨ヶ沢水産事務所1名、事務局4名

第7回青森県太平洋沖合のスルメイカ資源管理・利用のあり方検討会

2月22日、八戸市において、水産庁、青森県の共催により第7回の標記検討会が開催されました。初めに（独）水産総研東北水研八戸支所服部主任研究員と青森水産総研の黄金崎主任研究員からスルメイカの資源状況、漁況について説明があった後に、昨年の操業状況、今漁期に向けての課題について、出席者間で意見交換が行われ、今後も関係当事者間で話し合いを継続していくことが確認されました。出席者は、八戸沖沿岸漁業振興協議会、下北水産振興会、青森県いか釣り漁業協議会、（社）全国沖合いか釣り漁業協会、北部太平洋まき網漁業協同組合連合会、（社）全国底曳網漁業協同組合連合会、全国漁業協同組合連合会、八戸水産加工業協同組合連合会、八戸魚市場仲買人協同組合連合会、水産庁沿岸沖合課、管理課、仙台漁業調整事務所、（独）水産総合研究センター東北水産研究所、青森県、八戸市水産事務所、青森県東部海区漁業調整委員会（澤口委員、事務局から尾坂局長、出町主幹が出席しました。）

トドの出現等に関する情報

トドの出現等に関する情報として、前号から（独）水産総合研究センター北海道水産研究所生態系研究室の服部薫研究員のご協力を頂き、3回シリーズでトドの分布、回遊、生態について掲載しております。



『今回は、北海道周辺へのトドの来遊動向について説明します。北海道周辺へのトドの来遊動向は、年代ごとに大きく変化しています。1970年代までは、襟裳岬から噴火湾にいたる太平洋側にも数多くのトドが来遊していましたが1980年代以降著しく減少しました。』

『その背景には、来遊起源と考えられるロシアの繁殖場で個体数が大きく減少したためと考えられています。1990年代以降日本海側で（北海道水産研究所提供）は、80年代と比べて来遊域が拡大し、来遊期間が長期化する傾向にあり、トドの回遊経路は日本海側に大きく偏っていると云えます。その要因は明らかではありませんが、日本海側に近いオホーツク海北部およびサハリン周辺で個体数の増加が認められるのに対して、太平洋側に近いオホーツク海東部（千島列島）では、80年代の大幅な減少から緩やかに回復しているに過ぎないためと考えられております。』

（第2回掲載・北海道水産研究所生態系研究室：服部研究員）

【最近の青森県周辺海域のトド出現状況】

2月5日以降、トドの目撃情報はありますが、佐井村、外ヶ浜町、今別町、むつ市脇野沢では、1月以降2月26日現在、合計157件の漁業被害が発生しております。（青森県水産局水産振興課調べ）

平成20年度漁業後継者育成研修『賓陽塾』塾生募集

来たれ！青い海の漁師となるために！

『漁師になりたい人、漁師の後継ぎになりたい人のための研修です。』

青森県水産総合研究センター増養殖研究所から平成20年度漁業後継者育成研修『賓陽塾』の塾生募集がありましたのでお知らせします。

募集人員	10名程度
受講料	無料（資格取得は実費）
応募資格	漁業者または漁業就業希望者
通学方法	原則通学制（所内研修棟へ宿泊可）
研修内容	通常研修（4～7月） 水産に関する基礎知識、 漁業基礎技術、水産施設見学 選択研修（8～2月）*希望者のみ 資格取得 小型船舶（1, 2級） 海上特殊無線（2, 3級） 潜水士 漁業実習 沖合イカ釣り、定置網など（ロープワーク実習）
研修場所	東津軽郡平内町茂浦字月泊10 青森県水産総合研究センター増養殖研究所内
お問い合わせ	青森県水産総合研究センター 増養殖研究所 電話：017-755-2155 増養殖研究所ホームページ http://www.net.pref.aomori.jp/zosyoku/



賓陽塾研修棟

八戸にあった県立海洋学院が昨年から青森県水産総合研究センター増養殖研究所の中に『賓陽塾』として創設されました。各種の漁業実習の修得や最新の水産研究情報、小型船舶操縦士の資格が得られます。

3月のスケジュール

3月12日	太平洋広域漁業調整委員会	（農林水産省講堂）
3月12日	西部海区漁業調整委員会開催	（青森市）
3月13日	内水面漁場管理委員会開催	（青森市）
3月13日	日本海漁業調整委員会日本海北部会	（農林水産省講堂）
3月14日	日本海・九州西広域漁業調整委員会	（農林水産省講堂）
3月14日	東部海区漁業調整委員会開催	（青森市）